

高尾警察署に着任して

高尾警察署 交通課長 奉壽 政弘



令和4年2月21日付けで、当署交通課長に着任いたしました奉壽政弘と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。出身は、雄大な自然と数々の古墳、日本誕生の神話が残る宮崎県です。

幼い頃から白バイ隊員に対する憧れが強く、地元高校を卒業後、中野警察学校の門を潜りました。

経歴を申し上げますと、昭和54年に警視庁巡査を拝命して以来、各階級を通じて交通機動隊での憧れの白バイ隊員として勤務させていただいた他、警察学校教官や八丈島警察署次長として、管理職では、五日市警察署交通警備課長、田無警察署警務課長として勤務し、そして、この度当署の交通課長として着任いたしました。

趣味は、青梅の地に借りた2反(約620坪)あまりの畑に玉葱をはじめ、里芋、生姜、馬鈴薯、ブロッコリー、人参、大根や夏野菜のトマト、キュウリ、ゴーヤ、茄子、スイカなどを育てています。妻とは植え付けや肥料の時期、量あるいは温度管理を巡り、畑のなかで真面目に議論することもしばしば、そして日照りが続けば水まきのタイミングが気になり、雨ばかりの日が続けば根腐れにはしないかと天候に一喜一憂、試行錯誤を重ねながら丹誠を込めて育てています。妻と予想以上の収穫が得られたときの喜びを分かち合い、失敗したときの辛さを肴に夕餉をしたため杯を交わす、この上ない幸せを畑からいただいています。

警視庁では、『交通死亡事故「ゼロ」を目指して～チャレンジロード125～』をスローガンに掲げ、交通安全協会を始め自治体、交通ボランティア等と連携して、高齢者の生活サイクルに応じた交通安全指導や自転車ストップ作戦等を行い、都民の交通安全意識を高めるとともに、事故の多発が懸念される甲州街道を始めとする幹線道路での集中的な指導取締りや「見せる街頭活動」を強化するなど、重大交通事故の防止のための対策を進めています。

さて、当署は、昨年4月発生の過度な速度超過を起因とする二輪車による交通死亡事故からはその発生を見ていませんが、昨年と比較して発生件数、負傷者数とも今年に入り増加しております。加えて交通死亡事故につながるような危険な交通事故はあとを絶たず、そのうえドライバーや歩行者及び自転車のルール無視やマナーの低下等を考え合わせると依然として厳しい事故情勢で推移しております。当署といたしましても、交通事故の分析に基づき、多くの警察官を多発する交差点に積極的に配置を転換し、信号無視や横断歩行者妨害違反などの悪質・危険な交通違反の取締りを強化し、交通事故を1件でも減少させるよう努力してまいります。高尾警察署では、自治体や交通安全協会等の関係機関と相互に協力しながら、交通事故や犯罪のない、皆さま方が安全・安心を実感できる街づくりに全力で取り組んでまいります。これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全国交通安全運動表彰式



1月5日 春の全国交通安全運動に伴う表彰式 受賞された皆様おめでとうございます。